

9月の果実の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
日本なし類		12,851	95	12,381	223	147	246	29	0.2	栃木、福島、茨城、千葉産中心の入荷となる。品種は幸水、豊水など。栃木は、果実肥大は良好で大玉傾向であるが、入荷量は前年よりやや少なくなる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
りんご類		6,119	98	6,438	231	116	232	585	9.6	青森、長野、山形産中心の入荷となる。品種はつがる中心。青森は例年どおり9月初めからの出荷予定で、ピークは中旬～下旬となる。開花期以降の少雨でやや小玉傾向。長野は平年並みの果実肥大となっており、出荷ピークは8月末～9月上旬となる。全体の入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に上回る見込み。
ぶどう類		3,541	112	3,723	714	100	643	528	14.9	山梨、長野、山形産中心の入荷となる。品種は巨峰、ピオーネなど。山梨は果実肥大が良好で3L中心の大房となっているが、高温の影響により着色が遅れている。長野も全体的に大房傾向で、作柄は良好。全体の入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並みの見込み。
もも		1,872	95	1,586	365	121	409	432	23.1	福島、山形、長野産が中心となる。福島のゆうぞらは9月初め～7日頃までが出荷ピークとなる。長野は川中島が10日過ぎまでで、晩生品種も25日頃に終了となる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
メロン類		1,524	95	1,591	358	115	380	87	5.7	北海道、茨城、静岡、山形産が中心となる。品種はアールスメロン、アンデスなど。北海道は生育概ね良好で例年並の入荷見込み。茨城、静岡は、作付け面積の減少に伴い、入荷量は前年を下回る。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。
すいか類		1,255	100	1,202	133	103	168	245	19.5	長野、千葉、山形、青森産が出回る。長野は、着果時期の天候にも恵まれ、入荷量は前年を上回る見込み。果実肥大も良好で、3L中心の入荷となる。全体の入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。
すもも		260	105	254	477	98	463	98	37.7	山形、長野、山梨産が中心となる。山形は太陽、秋姫中心で、9月20日過ぎまでの出荷となる。作柄は良好で、前年を上回る出荷となる。長野は小玉傾向で、入荷は若干減少する予想。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。